

令和 7 年度「卒業生の就職先等の進路先の意見聴取等の調査」実施報告書

1 調査の目的

本調査は、本学が学生に対して、在学中に身につけさせたい学力や資質・能力および養成しようとする人材像に照らして、学生の卒業後の進路・就職状況等から、教育の成果や効果を検証することを目的とする。

2 実施概要

本学の卒業生の就職先として主要な業界の企業を対象に、卒業生の職場における勤務状況に関するアンケート調査を行った。アンケート調査結果は、学内において、集計・分析のうえで、教務センター等学内関係機関と情報を共有し、就職支援の改善および教育改善に反映させる。

3 実施期間

2025 年 8 月 1 日より 2025 年 8 月 31 日までの 1 か月間

4 調査方法

グーグル社が提供するオンラインアンケートツール「Google フォーム」を利用した「インターネットリサーチ（WEB 調査）」によりデータを収集した。

5 調査（設問）内容

本学が掲げるディプロマ・ポリシーを中心とする機軸に照らして、採用全般、インターンシップ、本学の教育、本学のキャリア支援などの問いを設定した。

6 調査依頼対象企業および回答企業

本学の卒業生の就職先として継続的に採用実績がある企業および本学が強みとする業界を中心に以下の、4 業種（※）6 社を選定し、4 社 1 団体より（無記名式）回答をえた。

※製造業、情報通信業、運輸・物流・郵便、宿泊・飲食・生活関連サービス

7 学内担当

企業との連絡、「Google フォーム」によるアンケートの配信および集計・分析については、キャリア支援センターが担当した。

I 企業・団体の属性等の集計結果を表1から表3に示す。

- ・主要な事業（業種）：「情報通信業」2、「宿泊・飲食・生活関連サービス」2、「製造業」1、「運輸・物流・郵便」1である。
- ・主要な事業展開エリア：「本社所在地のみで展開」3、「同一都道府県内に複数拠点あり」1、「複数の都道府県に拠点あり」1である。
- ・卒業生が配属されている主要な職種：「事務・管理系職種」3、「営業・販売・サービス系職種」3、「製造・技術・研究系職種」1である。

II 「本学の学生・卒業生に関する質問」の集計結果を表4から表6に示す。

- ・本学の学生および卒業生に優れている特長：「相手の意見や立場の違いを理解し、柔軟な人間関係を築く力」が最も多く5、次いで「多面的な視点、批判的思考力および課題解決力」および「自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーション力」がそれぞれ4、「社会人として必要な基礎的な知識および一般的な教養」および「自己管理および主体性」がそれぞれ3である。
- ・補うべき点や今後強化すべき点：「社会人として必要な基礎的な知識および一般的な教養」が最も多く3、次いで「多面的な視点、批判的思考力および課題解決力」および「自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーション力」がそれぞれ2、「自己管理および主体性」および「相手の意見や立場の違いを理解し、柔軟な人間関係を築く力」がそれぞれ1である。なお、その他（記述式）として「地頭の良さを感じます。社会経験を積むことで非常に良い職業人になると感じます」「既存の経験にとらわれず、新規事業や課題解決を創造性&想像性をもって企画できるとなると良い」などがある。
- ・卒業までに身につけてほしいリテラシー等：「社会的な常識とビジネスマナー」および「主体性・チャレンジ精神・継続力」が最も多くそれぞれ4、「基礎学力と論理的思考力」、「協調性とコミュニケーション力」および「情報発信力・文章表現力・デジタルリテラシー」がそれぞれ3である。

III 「採用全般に関する質問」の集計結果を表7から表8に示す。

- ・採用時に重視する能力：「変化や困難に冷静に対応する力」および「多角的に物事を捉え、情報を活用する力」が最も多くそれぞれ4、次いで「課題を見極め、解決に導く思考力」および「対話・協働を通じて相互理解し、周囲を巻き込む力」がそれぞれ3である。
- ・学生への採用情報の伝達手段：「自社の採用ホームページ・自社主催の説明会」が最も多く5、次いで「就職情報Webサイト」3、「大学が主催する合同企業説明会」および「公共機関・その他の媒体」がそれぞれ2、「大学以外の民間企業が主催する合同企業説明会」1である。

IV 「インターンシップに関する質問」の集計結果を表9から表13に示す。

- ・実施状況：5社すべてで実施している。
- ・目的：「学生の業種および職種への理解の深化」が最も多く5、次いで「企業認知度の向上と広報活動の一環」4、「採用に向けた母集団形成」3、「大学との連携強化」2である。
- ・時期：夏季休暇（8月）以降、12月を除き、年明けの3月まで期間は。常時実施している企業（1）もある。
- ・対象学年：「3年生」が最も多い。さらに「1年」から「4年」まで広く学年を問わないことがうかがえる。
- ・期間（日数）：「5日以上」（4）が最も多い。一方で短期型もある。

V 「本学の教育に関する質問」の集計結果を表14および表15に示す。

- ・本学の教育課程において今後特により力を入れるべきリテラシー：「論理的思考力・課題発見・解決力」が最も多く5、次いで「ICTスキルと情報活用力」4、「コミュニケーション・プレゼンテーション能力」3、「数理的推論力・データ分析力」2、「言語運用能力」1である。
- ・本学のキャリア支援において今後特に取り組むべき業務：「学内での企業説明会」、「OB/OGと学生との懇親会やイベント」、「企業や自治体と大学のコラボレーション」がそれぞれ3、「企業と大学との共同研究」2である。

※調査結果より、北海商科大学卒業生のキャリア形成や大学教育の効果に関して以下の点が示唆された。

・本学の学生・卒業生に関する評価：企業は、本学学生の柔軟な人間関係を築く力を最も高く評価し、次いで批判的思考力や課題解決力、コミュニケーション力をあげている。一方で、基礎的知識や一般教養の不足が指摘されており、卒業までに社会常識・ビジネスマナー、主体性や論理的思考力、デジタルリテラシーの修得が望まれている。

・採用に関する傾向：困難への冷静な対応力や多角的な情報活用力が重視され、課題解決力や協働力も評価対象である。情報提供手段としては、自社ホームページや説明会が最も多く活用されている。

・インターンシップの実態：全企業で実施され、学生の業種・職種理解が主目的である。夏季から翌年3月まで幅広い時期に行われ、対象は3年生を中心に全学年におよぶ。期間は5日以上が多いが、短期型もある。

・本学教育に対する意見：今後強化すべきは論理的思考力・課題解決力であり、ICT活用力やコミュニケーション力も求められる。キャリア支援では、学内説明会やOB・OG交流、企業・自治体との連携が重視されている。

・総じて、企業は本学学生の柔軟な対人関係能力を高く評価する一方、基礎的知識や社会経験に基づく応用力の強化を課題としている。採用やインターンシップでは多面的な思考力と実践的な対応力が重視され、教育課程においては論理的思考やICTスキルの伸長が期待されている。また、キャリア支援面では企業との接点拡大が強く求められている。

以上

9 集計結果

【企業・団体の属性等に関する質問】Q1 貴社・団体（またはグループ全体）の主要な事業（業種）を以下より選択してください。（複数選択可）※区分は日本標準産業分類を参考に集約した業種

表1

項目	実数	割合
第一次産業（農業・林業・漁業）		
エネルギー・建設・資源（電気・ガス・水道・鉱業・建設業など）		
製造業	1	20.0
情報通信業（IT・メディア含む）	2	40.0
運輸・物流・郵便	1	20.0
卸売業・小売業		
金融・保険業		
不動産業・物品賃貸業		
宿泊・飲食・生活関連サービス（理美容、レジャー・娯楽含む）	2	40.0
医療・福祉・介護		
教育・公務（学校・行政）		
わからない・分類不能		
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【企業・団体の属性等に関する質問】Q2 貴社・団体（またはグループ全体）の主要な事業展開エリアを以下より選択してください。

表2

項目	実数	割合
本社所在地のみで展開	3	60.0
同一都道府県内に複数拠点あり	1	20.0
複数の都道府県に拠点あり（全国展開）	1	20.0
海外に拠点あり		
海外市場にも展開		
合計	5	100.0

【企業・団体の属性等に関する質問】Q3 弊学卒業生が配属されている主要な職種を以下より選択してください。複数の場合は該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

表3

項目	実数	割合
事務・管理系職種（一般事務、人事、経理、管理職など）	3	60.0
営業・販売・サービス系職種（営業職、販売職、接客、飲食、観光サービスなど）	3	60.0
福祉・医療・保育系職種（介護職、看護師、保育士、福祉支援など）		
教育・専門職系職種（教員、インストラクター、法務、会計士、文化芸術関連など）		
製造・技術・研究系職種（製造業、技術者、エンジニア、研究開発など）	1	20.0
建設・土木・電気工事系職種（建設作業員、電気工事士、土木技術者など）		
運輸・物流・警備系職種（ドライバー、配送、機械運転、警備員、清掃など）		
農林水産（農業、漁業、林業）		
分類不能		
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【本学の学生・卒業生に関する質問】Q4 本学の学生および卒業生に優れている特長があればおきかせください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表4

項目	実数	割合
社会人として必要な基礎的な知識および一般的な教養	3	60.0
自己管理および主体性	3	60.0
多面的な視点、批判的思考力および課題解決力	4	80.0
相手の意見や立場の違いを理解し、柔軟な人間関係を築く力	5	100.0
自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーション力	4	80.0
特になし		
その他		
合計	5	—

注) 実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【本学の学生・卒業生に関する質問】Q5 本学の学生や卒業生について、貴社から見て補うべき点や今後強化すべき点がございましたら忌憚のなくご指摘ください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表5

項目	実数	割合
社会人として必要な基礎的な知識および一般的な教養	3	60.0
自己管理および主体性	1	20.0
多面的な視点、批判的思考力および課題解決力	2	40.0
相手の意見や立場の違いを理解し、柔軟な人間関係を築く力	1	20.0
自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーション力	2	40.0
特になし	1	20.0
その他（地頭の良さを感じます。社会経験を積むことで非常に良い職業人になると感じます。）	1	20.0
その他（既存の経験にとらわれず、新規事業や課題解決を創造性&想像性をもって企画できるとなお良い。）	1	20.0
合計	5	—

注) 実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【本学の学生・卒業生に関する質問】Q6 本学の学生に対して、卒業までに身につけてほしいリテラシー等は何ですか？
該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表6

項目	実数	割合
社会的な常識とビジネスマナー	4	80.0
基礎学力と論理的思考力	3	60.0
主体性・チャレンジ精神・継続力	4	80.0
協調性とコミュニケーション力	3	60.0
情報発信力・文章表現力・デジタルリテラシー	3	60.0
特になし		
その他		
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【採用全般に関する質問】Q7 採用時に重視する能力は何ですか？該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表7

項目	実数	割合
変化や困難に冷静に対応する力	4	80.0
課題を見極め、解決に導く思考力	3	60.0
多角的に物事を捉え、情報を活用する力	4	80.0
対話・協働を通じて相互理解し、周囲を巻き込む力	3	60.0
特になし	5	100.0
その他		
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【採用全般に関する質問】 Q8 学生への採用情報の伝達手段はなんですか。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表8

項目	実数	割合
自社の採用ホームページ・自社主催の説明会	5	100.0
就職情報Webサイト（○○ナビ）	3	60.0
大学が主催する合同企業説明会	2	40.0
大学以外の民間企業が主催する合同企業説明会	1	20.0
公共機関・その他の媒体（例：ハローワーク、新聞など）	2	40.0
その他（本学教員からの紹介）	1	20.0
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【インターンシップに関する質問】 Q9 インターンシップは実施していますか。

表9

項目	実数	割合
実施している	5	100.0
実施していない		
合計	5	100.0

【インターンシップに関する質問】 Q10 インターンシップを実施する目的はなんですか。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表10

項目	実数	割合
企業認知度の向上と広報活動の一環	4	80.0
採用に向けた母集団形成	3	60.0
学生の業種および職種への理解の深化	5	100.0
大学との連携強化	2	40.0
特になし		
その他（お互いの人柄や人間関係の見極め）	1	20.0
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【インターンシップに関する質問】 Q11 実施時期はいつですか。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表11

項目	実数	割合
8月	2	40.0
9月	2	40.0
10月	2	40.0
11月	2	40.0
12月		
1月～3月	1	20.0
常時	1	20.0
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【インターンシップに関する質問】 Q12 対象学年をおこたえください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表12

項目	実数	割合
1年生	2	40.0
2年生	3	60.0
3年生	5	100.0
4年生	3	60.0
大学院		
合計	5	—

注) 実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【インターンシップに関する質問】 Q13 実施期間（日数）をおこたえください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表13

項目	実数	割合
1日	1	20.0
2日	1	20.0
3日	1	20.0
4日	1	20.0
5日以上	4	80.0
合計	5	—

注) 実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【本学の教育に関する質問】Q14 本学の教育課程において、今後特により力を入れるべきリテラシーがあればおこたえください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表14

項目	実数	割合
論理的思考力・課題発見・解決力（問題を発見し、論理的に解決策を導く力）	5	100.0
数理的推論力・データ分析力（数学的思考やデータを用いた分析力）	2	40.0
言語運用能力（読解力、文章力、外国語の習得を含む）	1	20.0
コミュニケーション・プレゼンテーション能力（対話力や発表力など、他者に伝える力）	3	60.0
ICTスキルと情報活用能力（デジタル技術を活用した情報の収集・発信・処理能力）	4	80.0
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。

【本学のキャリア支援に関する質問】Q15 本学のキャリア支援において、今後特に取り組むべき業務があればおこたえください。該当するすべてを選択してください。（複数選択可）

表15

項目	実数	割合
学内での企業説明会	3	60.0
OB/OGと学生との懇親会やイベント	3	60.0
企業や自治体と大学のコラボレーション（包括連携/地域連携/産官学連携）	3	60.0
企業と大学との共同研究	2	40.0
特になし		
その他		
合計	5	—

注）実数の「合計」は回答数の累計ではなく調査対象数を示す。さらに「割合」は調査対象総数に対する比率である。